

青年技能優秀士



菓子製造 21年 榎橋梅月堂

榎橋 康男さん (39歳 南薫町)

伝統を守りつつ時代のニーズも見逃さない 向上心旺盛な老舗の五代目

明治11年創業という老舗の五代目として活躍する榎橋さんは、代々続く銘菓を継承しながらも、時代のニーズに合わせて新商品開発に取り組む意欲的な方です。「伝統は大切に守りますが、いつまでも同じところに留まってはられないから」と榎橋さん。平成元年の「つつじサブレ」を始め、22年には国際ツバキ会議にあわせて「久留米椿最中」を発表し、志を実現する技術の高さを証明しました。また、市内の小学校で和菓子作りの講師を務めるなど、菓子を通じた社会貢献にも尽力しています。